

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学生が定期的に研究成果を紀要等に公表しているか否かを検証する	→学生1名あたりの業績年間アウトプット数	A
2. 学位審査で公開方式のプレゼンテーションを行う	→公開プレゼンテーションの開催率と参加者数	D
3. 就学の基礎となる年限での博士学位の取得者割合	→就学3年次終了時における博士学位取得者の割合	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

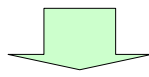
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(方針) 3年間の正規の修業期間において博士の学位取得が実現できるような研究指導体制を徹底する。 (現状説明) 学位取得の要件となる英語学力試験や専門学力試験、学会報告、紀要への投稿など、研究指導教員の指導に基づいて、海外転勤などの正当な理由のある学生を除き、ほとんどの学生が、順調に成果を上げている。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) 今年度が完成年度となるために、本事項については、評価不能。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	全学生が研究成果を紀要等に論文として公表している。
★小項目6.4.2	
その他	



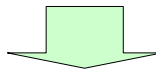
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	公開学位審査発表会の実施方式を確立する。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○完成年次に達した後、卒業生や就職先へのアンケート調査をするなどして、社会に出てからの教育成果を検証することが期待されます。

【学内委員】

○目標1. は検証することによって何を目指そうとするのかを目標として設定しなおすことが望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 学生1名あたりの業績年間アウトプット数は、本課程に在籍する学生の研究の進捗状況を推し量る客観的な指標として有用と考えている。なお、本課程では本年度中に博士論文を提出予定の学生を数名予定しており、こうした学生が今後社会においてどのような活動・実績を残しているかをフォローし、本課程における研究成果の中長期的なフォローを行いうる体制の整備について検討の予定である。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次 Semester ごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
